

## 「主イエス、試みを受ける」

2023年01月18日

イエスは、「『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」とお答えになった。(ルカ福音書4:4) イエスはお答えになった。「『あなたの神である主を拝み/ただ主に仕えよ』と書いてある。」(ルカ福音書4:8) イエスは、「『あなたの神である主を試してはならない』と言われている」とお答えになった。(ルカ福音書4:12)

主イエスは、ヨハネから洗礼を受けた時、聖霊が降り、神の子であり、神の心に適う者として立たせられた。人間の救いを実現する福音を現わす活動を始める時が来たが、その前に、霊によって荒れ野に導かれ、悪魔の試みを受けられた。その三つを記している。

一つ目は、40日間、何も食わず、空腹を覚えていた時、悪魔は「神の子なら、この石をパンになるように命じたらどうだ」と誘われた。「イエスは、『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」とお答えになった。」この言葉は、申命記8章3節の「そしてあなたを苦しめ、飢えさせ、あなたもその先祖も知らなかったマナを食べさせられた。人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きるということを、あなたに知らせるためであった」からの引用である。人はパンなしには生きられないが、パンは神が備えてくださる。出エジプトしたイスラエルの民は荒れ野で飢え、渴いたが、マナを与えられ、神の恵みのリアリティを味わった。主イエスは、この故事から、神の言葉の真実に立つと答えられた。この信仰は、神から与えられるパンはひとり占めするのではなく、共に分かち合う生き方へと変えられる。

二つ目は、主イエスを高く引き上げ、世界の全ての国々を見せて、「この国々の一切の権力と栄華とを与えよう。それは私に任されていて、これと思う人に与えることができるからだ。だから、もし私を拝むなら、全部あなたのものになる」と誘った。主イエスは、「『あなたの神である主を拝み/ただ主に仕えよ』と書いてある」と答えられた。この言葉は、申命記6章13節の「あなたの神、主を畏れ、主に仕え、その名によって誓いなさい」からの引用である。著者ルカは、この世の権力と栄華は悪魔に任せられていると認識し、悪魔にひれ伏す者が、これらを手に入れることができるという。人間が共に生きるためには権力が必要であろう。互いに尊重し合う共同生活を営むための権力か、悪魔を拜んで得た権力なのか、これを見極める英知が求められている。今日、悪魔に心を売り渡し、人権と平和を疎外する権力者が多いことを見せられている。共生を生み出す権力を作り出すことが国民に課せられた責任である。

三つ目は、主イエスをエルサレムに連れて行き、神殿の端に立たせ、「神の子なら、ここから飛び降りたらどうだ」と誘い、神の言葉である詩編には、神が天使たちに命じ、彼らは両手で、あなたの足が石に打ち当たらないように守らせると書いてあるからだと言った。主イエスは、「『あなたの神である主を試してはならない』と言われている」とお答えになられた。この言葉は、申命記6章16節の「あなたがたがマサで試したように、あなたがたの神、主を試してはならない」からの引用である。荒れ野で水に渴いた時、神の守りを疑ったことを、神を試したと表現している。悪魔は、神がおられることを証明する、驚くような奇跡を起こせと誘っている。人は苦難の中にある時、奇跡による救いを求める。主イエスは、奇跡を見ずとも神の守りは確かなので、試しはしないと神信頼を貫かれられた。

悪魔は、あらゆる試みを尽くしたが、主イエスは聖書の言葉で撃退された。霊によって導かれているので、主イエスの勝利は約束されている。